

後援会だより

vol. 17

CONTENTS

秋桜祭 …………… 2
 学内アラカルト …………… 3
 第14回輝く人たち(卒業生の活躍) …………… 4
 後援会行事「ヒラティス講座」 …………… 4

群馬県民カレッジ連携講座 第十回 公開講座

群馬松嶺福祉短期大学 主催
 太田市教育委員会

公開講座も十年目を迎え、この十年間で受講者数は千人を超えました。リピーターの方が多く、地域の皆さんの学ぶ意欲と福祉への関心の高さが伺えます。十周年を記念して、多年に亘り受講いただいた方に、感謝状と記念品を贈りました。

- 実践講座**
- 第一回 『今、子どもたちに何が起きているのか』 園田健司
 - 第二回 『高年期の生き方』 横山未知
 - 第三回 『共生の時代』 宇野正昭
 - 第四回 『子どもの障がいは宝もの』 増田健巳
- 義講座**
- 第一回 『お年寄りを寝たきりにさせない介護教室』 竹内美恵
 - 第二回 『オリジナリティー豊かな表現活動』 二木秀幸

第1回 「今、子どもたちに何が起きているのか」

学長 園田健司

今年も本学の公開講座がはじまりました。申込者の数が一六〇名を超える盛況で市民の学習意欲の旺盛さに驚きを感じると共に、開かれた大学として地域における貢献の重要さを改めて痛感しているところです。



私は初回の講座の中で概ね次のようなお話をさせて頂きました。それは一般の子どもたちに通じる気になる現象的狀況があるということ。感情のコントロールやコミュニケーション技術の欠如、自己肯定感がありません。

てない、自分の行為を他人事のように思う自己の他者化といった現象です。そしてさらに気になることは、特に社会的に對して迷惑をかけるとか法的に問題がある行為ではないのですが、学校恐怖症、登校拒否、心身症、神経症、アパシーやフクロウシンドローム、バーンアウトなどの非社会的な行動現象がみられることです。これらの現象にはある心理的状況の共通性がみられます。それは経験としての良き原風景や自己との對峙の欠如、不適応状態の持続、自我形成の他律性などです。

このような状況が生まれる背景として、私は戦後教育のあり方、そしてそこから派生する現代社会の価値観に大きな鍵があると考えております。それは、日本、韓国、中国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスなどの比較研究からも日本の価値観に大きな差がみられます。そこで、今後は教育観、公と私の教育、訓練としての教育、メディアリテラシーの教育、育てるカウンセリングなどの視点が求

パネルシアター 実演講習

五月二十八日、児童福祉専攻の授業の一環として、パネルシアター考案者である古宇田亮順先生にパネルシアターおよびブラックシアターの実演講習をしていただきました。めったにない機会でもあり、本学の学生のみならず市内の保育士さんにも多数で参加をいただきました。

パネルシアターは、パネル布(付着力のある布を張った板)の上で、Pペーパーで作製した紙製の動物や小道具をはったり動かしたりして演じ



められると思います。そしてそこには客観的な科学に基づいた心の安定となりえる方策によって心に支柱(心樑)を作ることが必要ではないかと考えております。

今、私は学長として、本学が変革のエネルギーをもった教育の場として、生涯学習の拠点として地域社会のニーズに応え、市民に満足して頂けるような取り組みを考えております。ご支援ご協力をお願い申し上げます。

るお芝居のようなもので、ご住職でもある古宇田先生が三十五年前に考案したものです。トパンパン手拍子で始めましょうという軽快な音楽に合わせてパネルシアターが始まると、会場内は楽しく暖かな空気になり、参加者全員がまるで子どものようにワクワクし始めました。手拍子をとったり、先生と一緒に歌ったり、一気に古宇田ワールドに惹きこまれました。

また、パネルシアターを行う上での注意点、制作の過程で工夫すべき点などをわかりやすく教えていただきました。パネルシアターは、空間のとり方で、伝わり方がだいぶ違



ってしまつので、伝えたい内容と合うようにパネルを置くことが大切。また、子どもたちに見せる前に、第三者に見てもらいた確かなアドバイスをもらうことも必要とおっしゃっていました。とても楽しいひと時でした。

学事暦

12月	1日	1年介護実習Ⅰ(～13日)	2月	11日	建国記念の日(定期試験実施)
	6日	入学試験		17日	追・再試験期間(～20日)
	22日	創立記念日		18日	児童2年合同ゼミ発表会
		(月曜日の通常授業実施)		23日	1年児童福祉実習(～3月7日)
	23日	冬季休業(～1月7日)		25日	介護事例研究報告会
	8日	授業再開		26日	入学試験
1月	12日	オープンキャンパス	3月	17日	学位記授与式
	26日	定期試験日程発表		20日	春季休業(～31日)
2月	2日	後期授業最終日		1日	入学式
	3日	補講期間(～9日)		2日	健康診断、オリエンテーション(～3日)
	7日	入学試験	4月	6日	授業開始
	10日	後期定期試験(～16日)			

第10回 秋桜祭

今年で十回目を迎える秋桜祭は、前日に行われた前夜祭から大盛り上がり。

「HEY! HEY! HEY 専攻対抗 SHOREI MUSIC STATION」では、飛入り参加を含め十グループがエントリー。介護一年全員で、旅立ちの日に、を歌ったり、松田君(介二)は、ヒロシのまねで、ヒロキです。を実話を基にした自虐ネタで会場を沸かせました。

「児童福祉専攻ばかりが受賞しましたが、どのチームもすばらしく、審査委員長である園田学長から講評があり、各賞の受賞者が発表されました。MVP賞には、ドリカムの「LOVE LOVE」と一青窈の「ハナミズキ」を手話を交え、きれいなハモリでした。



前夜祭 10月10日 17時~20時
 HEY! HEY! HEY 専攻対抗 SHOREI MUSIC STATION
 '08 ミス・キャンパス コンテスト

つとりと歌い上げた「ちやいど☆はーもにー」が受賞。ベストパフォーマンス賞には、池森ゼミ六名「I KE XILEE」が、EXILEの「Choo Choo TRAIN」を踊り、息のあったダンスを披露し受賞。また、ベスト



ボーカル賞には、抜群の歌唱力の二人組「ホニヨ」がコブクロの「どんな空でも」を歌い受賞しました。グループの実力が拮抗していたこともあり、急遽、審査員特別賞が「かすみそつ」「アオキ+」「介護一年全員」に贈られました。

続いて、「08ミス・キャンパスコンテスト(ロイヤルチエスター・ティアラプラザ主催)」が行われました。素敵なおウエディングドレスに身を包み、プロの方からメ



イクをしていただき「美」を競いました。グランプリに選ばれると、十二月に行われる本選「ミスキャンパスクイーングランプリ」に出場。このコンテストには、二年三名と一年六名の計九名がエントリーしました。エスコート役に選ばれた増田先生と山本先生が、順番に一人ずつ手を取り入場すると、「うわあ〜かわいい」「きれい」などと歓声が上がリ、九人が壇上に並ぶと司会の二木先生から「レベル高いな〜」の一言。ハイレベルな戦いに審査も難航。誰がなってもおかしくない状況でしたが、ミス・キャンパスグランプリに、長谷川真澄さん(児二)が選ばれると会場からは「キヤー」という大きな歓声が…。「びっくりしました。お母さんに知らせたいです」と涙ながらに心境を語っていました。準ミスには、高野美緒さん(児一)が選ばれました。

秋桜祭 10月11日 10時~17時

- ◆ どんどんクラブ「和太鼓」
- ◆ かすみそつ「ソーラン節」
- ◆ ちやいど☆はーもにー「パネルシアター・手遊び」
- ◆ シークレット Live
- ◆ 園児の作品展
- ◆ 女装・男装コンテスト
- ◆ ホラーハウス



秋桜祭初出場の「障がい児者と太鼓の会 どんどんクラブ」の勇ましい和太鼓演奏でスタートした今年の秋桜祭は天気にも恵まれ、多くの方にお越しいただき大盛況でした。平成十七年に設立したどんどんクラブは、和太鼓の力で一人ひとりが輝く場を作りたいという想いからはじまり、今では会員七〇名を超え、今後も誰もが楽しめる和太鼓を目指し活動していきたいと、指導者の田淵さんは話していました。



「シークレット Live」では、卒業生グループ「いよかん」や、前夜祭で賞をとったグループも出場。中でも今年一番の盛り上がりを見せたのは「女装・男装コンテスト」。女装六名・男装五名の学生がステージに現れると、「キヤーかわいい」「かっこいい」「私よりも足が細い」など歓声やらなにやら…。羽生田君(児二)と佐川さん(介二)がそれぞれ優勝しました。

後援会は「福引きとおむすび」を出店。役員の方々のご協力により福引きが大盛況!!特賞のディスプレイランドペアチケットやイオン商品券など素敵な景品を用意していた福引きは、ご近所の方や来場くださった方々などで延べ六〇〇名を超えました。おにぎりもお昼過ぎには完売し、大忙しの日でした。



上級救命講習会

五月三十一日・六月一日、学内において上級救命講習会が行われ、二十五名の学生が心肺蘇生法の手順やAEDの使用手順を中心に、止血法・搬送法・ケガに対する応急手当などを学びました。



心臓や呼吸が止まってしまった人の命が助かる可能性は、その後十分で急激に少なくなるそうです。救急車が到着するまで全国平均で六分以上かかる現状では、そこに居合わせた人のすばやい救命処置が、その人の最後の人生を大きく左右します。突然に心臓が止まるのは、心臓がブルブルと細かく震える「心

室細動」によって生じることが多く、この場合、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻すことが重要。AED（自動体外式除細動器）は、この電気ショックを行うための機器で、コンピュータによって自動的に心室細動かどうか調べ、電気ショックが必要かどうかを決定し、音声メッセージで指示してくれるので、一般の人でも簡単に確実に操作できます。

最近では、学校や公共施設はもちろん、駅やデパートなどでもAEDを設置しています。救命講習を受講希望の方は、居住地の消防本部にお問い合わせください。

児童福祉専攻 前期発表会

七月十七日、児童福祉専攻一・二年生合同の発表会が行われました。

オープニングパフォーマンスとして、池森ゼミによる「『Choo Choo TRAIN』 by KEXILE」のダンス発表が行われました。お揃いの衣装で派手に登場した学生たちのダンスに会場内から「オーっ」と歓声が上がリ、練習の成果を存分に発揮していました。続いて、非常勤講師の山添先生と学生による「造形Project」が発表されました。造形の授業で共同作品を描く様子を定点録画したものを、「コマ送り」することに、作品が出来上がっていく様子が映し出されました。



続いてミッドパフォーマンスとして、二木先生と学生による歌の発表。ゴスペラーズの「ひとり」やミュージカルRENTの「Seasons of Love」をきれいにハモリながら、しつとりと歌い上げていました。エンディングパフォーマンスには、二木先生の歌と池森先生のピアノ伴奏による、平井堅「瞳をとじて」が披露されました。また、パフォーマンスの合間にはみんなで楽しめるゲームが行われました。学生たちの表情には充実した学生生活をうかがうことができ、楽しい発表会でした。

かすみそうサークル 〈ボランティア活動の紹介〉



私たちは「かすみそう」というサークルで、介護の現場や地域の公民館などで、ソラン節を踊ったり、一緒に手を動かす体操を行い、お年寄りの方に楽しんでいただくことを目的に活動しています。

今回は、太田市飯塚町の公民館で地域のお年寄りの方が集まる「いきいきサロン」にお邪魔させていただきました。まずは「ドレミの歌」に合わせて体操です。皆さん、私たちに負けないくらい元気で驚きました。次に「ソラン節」を踊りました。皆さんに楽しんでいただけたか不安でしたが、踊り終わった後に大きな拍手をいただくことができました。中には「十歳くらい若返ったよ、ありがとう」などといった言葉をいただくことができ、私たちも笑顔に。今後も介護の現場や公民館などで活動し、お年寄りの方に楽しみ、喜んでいただけるよう頑張っていきたいです。これからも「かすみそう」をどうぞよろしくお願ひします。



第19回 群馬県私立大学スポーツ大会



前橋市の群馬アリーナを主会場として、秋晴れとなった十月四日・五日の二日間、群馬県私立大学スポーツ大会が開催されました。県内の私立大学が学生交流の一環として、スポーツを通じて交歓し、親睦を深めることを目的に行われています。

本学は、フットサル・ソフトボール・バレーボールの三種目に出場しました。授業・実習等で練習時間も十分とれずに臨んだため、三種目とも一回戦で敗退してしまいました。他大学との交流は良い刺激になったことでしょう。



卒業生の話

介護福祉専攻

六月六日、一・二年生合同授業において、特養や老健、グループホームなど、障害の程度や生活状況に応じたさまざまな高齢者施設で働く卒業生六名に、介護福祉士としての仕事内容や心がけていること、先輩へのアドバイスなどを話していただきました。

- *利用者さんは人生の先輩であることを念頭においている。
- *より良い介護をするには、利用者さんの生い立ちを知り、その人を受け入れることから始まる。
- *人それぞれ障害の程度が異なるので、その人に合った介護を心がけている。
- *モチベーションを高く持ち、利用者さんやその家族にいかにも満足してもらえんのが大事。
- *介護の知識だけでなく、医学一般などの勉強も大切。
- *ボランティア活動に積極的に参加し、いろいろな施設を知ることが大切。

など、貴重なお話をさせていただきました。今後の学習への手がかりと、介護福祉士としての仕事を理解し、就職を考えるうえで大変貴重な機会となりました。



輝く人たち

第14回



久保田 優子さん

平成十八年度介護福祉専攻卒業
特別養護老人ホーム
ちよたCOMハウス勤務



利根川の流れが聞こえてきそうな、千代田町の恵まれた自然に囲まれた環境に建つ「ちよたCOMハウス」を訪ねました。隣には保育園もあり、園児のかわいい声も聞こえてきます。

まず、館内に流れる音楽に関心しました。歌謡曲やヒーリング音楽・軍歌など、曜日ごとにジャンルを決め、朝の起床時から夕方まで有線放送を流しています。数年前、利用者さんが音楽に合わせて口ずさんでいる様子をヒントに、音楽療法もかねて音楽をかけるようにしたそうです。また、行事やお出かけ・映画鑑賞会など、利用者さんが楽しく毎日を過ごせる環境づくりに力を入れているそうです。

。将来の夢は、ケアマネージャーの資格をとり介護のスペシャリストになること！今は元気な祖父ですが、いずれお世話をしあげたいと思ひ介護福祉士を目指しました」と、いつも明るく、元氣よく語ってくれる優子さん取材しました。

就職し、利用者さんに初めて名前を覚えてもらえた時は、すごくうれしかったです。短大で学んだ介助方法や技術が、実践ではなかなか思うようにいかず、また、利用者さんの障害の程度によっても異なってくるので、初めの頃は戸惑うことがありましたが、二年目の今は仕事にも

自然と笑顔に…

職員が企画し、土曜日の午後などいろいろイベントを行っています。誕生日会や運動会・クリスマス会などは勿論、十月にはさんま会も催しました。なかでも、デイサービスやケアハ

ウスと合同で行う納涼祭は、とても盛り上がります。食堂はちようちん等で飾り付けをし、中庭にはいろいろな屋台が出店します。地区ボランティアの方の小品やハンドベル演奏など、楽しい企画が盛りだくさん。普段面会に來られない家族の参加もあって、利用者さんの顔は自然と笑顔に…。

また、隣接している西保育園の園児が、遊びに來たときは、部屋にいた利用者さんも園児のかわいい笑い声に誘われ、食堂に集まって來ます。園児に肩をもちてもらったり、おしゃべりをしたり、とても楽しそうにしている姿が見られます。普段あまりしゃべらない利用者さんが、話しをしている様子を見ると私までうれしくなります。

今後、コミュニケーションを大切に、利用者さんにとってより良い介護を心がけていきます。



後援会行事

ピラティス講座

キーワードは、胸式呼吸と骨盤の安定

六月四日・十一日の二週連続で、加藤ひろ子先生によるピラティス講座が開催されました。

ピラティスとは、第一次世界大戦後に負傷した兵士のリハビリプログラムとして、ドイツ人ジョセフ・ピラティス氏によって開発されました。特徴は、呼吸や身体の動き、身体の奥深くにある筋肉（※コアの筋肉）を意識しながら、骨盤を常に安定させて動かすこと。コアの筋肉が鍛えられると、身体の歪みが改善され、姿勢の悪さや肩こり、疲れやすさなどを解消する効果も期待できます。また、正しい呼吸をすることで、細胞が活性化し自然治癒力も高まります。

まずは、ピラティスポールを使い基礎的な動きから始めました。普段使っていない筋肉や骨盤を意識しながらの動きは思った以上に大変でしたが、学生たちは身体も柔軟で体力もあり、次々にプログラムを消化していました。終了直後から大腿の裏側や腹筋が筋肉痛になる学生が多



く、ピラティス効果を実感できました。

※ コアとは、尾てい骨から頭蓋骨までを貫く一本のライン（脊椎）と骨盤周辺の骨格や筋肉のこと。

天神山

5世紀中ごろに築造された東日本最大の古墳で、大学から南西に徒歩数分と近い。

★クリスマスイルミネーション★

毎年この時期になりますと、クリスマスを迎える準備が整います。学生ホールにクリスマスツリー、木々にはイルミネーション。夜には、青くきらめく学校の風景が楽しめますので、お近くにお越しの際はぜひご覧ください。

